

「住み慣れた場所で、自分らしく最期まで過ごしたい」「大切な人の最期を看取りたい」

といった、患者さんとご家族の気持ちを支えながら在宅医療に取り組んでこられた経験から
見えてきた大切なことについて、ご講演をいただきます。

演題

いきいきと生きて逝くために 自分の最期を考えること



平成 29 年

3 月 4 日（土）

参加費：無料

※講演の内容は、両会場ともに
同じです。

庄原
会場

会場：庄原市ふれあいセンター
(庄原市西本町四丁目 5 - 26)

時間：午前 10 時～午前 11 時 30 分

東城
会場

会場：庄原市東城自治振興センター
(庄原市東城町川東 1188 - 2)

時間：午後 1 時 30 分～午後 3 時

講師

芸北ホリスティックセンター

おがほら
北広島町雄鹿原診療所

とうじょう たまき
所長 東條 環樹 医師



講師紹介

1997 年自治医科大学卒業。臨床研修終了後、卒後 5 年目より広島県山間部の僻地診療所に赴任。現在も勤務を続けている。プライマリケアを提供する外来診療に加え、健康増進、重症化予防のための保健活動、終末期を含めた地域医療を実践している。看取り文化の再興と患者が最期まで家族と暮らせるよう在宅・施設ケアに取り組むと共に、県内外での講義や講演も積極的に行い、その成果を外部へ発信している。

名医の郷である兵庫県養父市が地域医療に頑張っている医師を顕彰するために創設した「やぶ医者大賞」の第 1 回受賞者。また、平成 27 年には「へき地医療貢献者表彰」を受賞。